



がんセンター新病棟オープン

十一月三日に栃木県立がんセンターの新病棟がオープンしました。県では、このがんセンターの拡充整備を重点事業のひとつとして位置づけ、がんに対する高度専門医療体制の充実を進めてきました。今回、がんセンター拡充整備計画の中心となる新病棟がオープンしたことで、病床が増床され、診療機能の一層の強化が図られます。

新たな診療ニーズへの対応

県立がんセンター(宇都宮市陽南)は、昭和六十一年九月に開設され、現在まで、本県におけるがん治療の専門病院として診療を行ってきました。

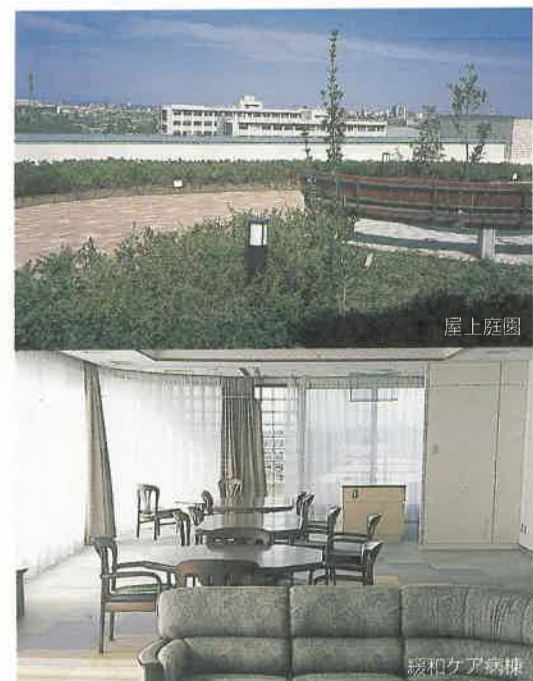
この間、がん発生に関する研究や高度医療機器の開発等により、がんの治療技術は大きく進歩してきましたが、がんは、依然として死因の第一位を占めており、死亡者数も年々増加しています。

県では、高度化・多様化するがんの治療技術や、増大する県民の診療ニーズに対応するため、がんセンターの拡充整備を進めてきました。

この拡充整備では、①入院待ち患者の解消を図る等、がん診療ニーズに対応するための増床整備②末期患者に対応した緩和ケア病棟の整備③多様化・専門化する診療ニーズに対応するための診療機能の充実④診療内容の充実・治療成績の向上等を図るための研究部門の充実を行うこととし、平成十三年六月の完成に向けて整備が進められています。

緩和ケアにも対応した新病棟の建設

本館に隣接して建設された新病棟は、地上五階(一部六階)地下二階建てで、病床数は



屋上庭園

緩和ケア病棟

二百八床。一階から三階までが一般病棟、四階が化学療法病棟、五階が緩和ケア病棟となっています。さらに、屋上部分には、庭園と展望浴室が設けられています。

化学療法病棟は、無菌室を備え、血液がん患者に対する骨髄移植などにも対応できる病棟となっています。

緩和ケア病棟には、談話室や音楽室が設けられているほか、各病室には植栽のある広いベランダが設けられています。

病床数が増加、利用者の利便性も向上

今回の新病棟のオープンにより、病床数は五十八床増の二百五十八床となり、入院待ちの状態が改善される見込みです。さらに、現在本館病室の改修を行っています。この改修が完了し、全施設が運用開始になる平成十四年度中には、三百五十七床にまで増床されます。

また、今回新病棟の完成にあわせて、コンピュータ情報システムを導入しました。検査や再診の予約等の事務が迅速に処理されるようになり、医療事務の効率化が図られ、利用者の方々の待ち時間も短縮されます。

◇問合せ 県医事厚生課

TEL 028-623-3158

がんセンター所長インタビュー がんは早期に治療すれば、治る病気です



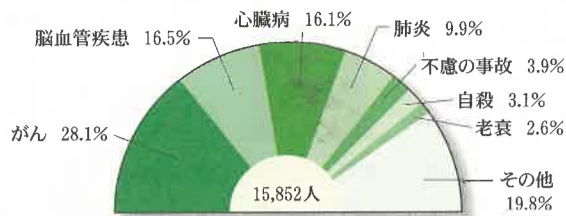
県立がんセンター 小山所長

今回は、県立がんセンターの小山所長に、がんの現状やがんセンターの機能などについてお話を伺いました。

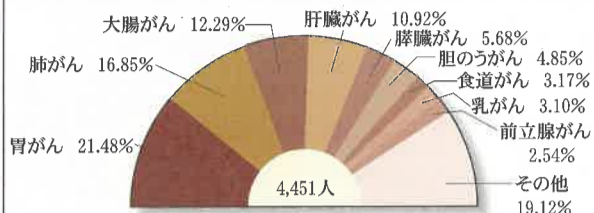
―はじめに、がんの現状について教えてください。

がんは、昭和五十一年以降、わが国の死亡原因の第一位となっています。現在、死亡者の十人に約三人は、がんで亡くなっています。県内でも、昭和六十一年以降死亡の第一位で、昨年は全体の二十八・一%、四千四百五十一人の方が、がんで亡くなりました。

死亡総数に占める死亡原因



臓器別がんの死亡率の割合



※大腸がん＝結腸・直腸S状結腸移行部及び直腸のがんを足したものと
平成11年栃木県人口動態統計(概数)より

―がんの治療方法について教えてください。

早期のがんは自覚症状が少ないですからね。それから、検診で「精密検査が必要」とされたら必ず受診することです。治療が早ければ早いほど、死亡する確率は減ってきます。

―がんはなぜ発病するんですか。

がんは、人の身体の細胞が「がん化」してがん細胞となり、分裂・増殖・転移して「がん病巣」を作ること、病巣としてあらわれてくるものです。

細胞のがん化は、遺伝子に傷が付いて異常となるためにおこることがわかってきました。そしてその要因としては、喫煙や食生活などの生活習慣が関わっていることが明らかになってきています。

ですから、バランスよく栄養をとる・タバコを控えるなど日常生活に気をつければ、かなりの程度がんは予防できます。

同時に、検診をきちんと受けることも大切です。がんは早期の発見・治療が大切なんです。

最近では、胃がんや子宮がんは減少傾向にあります。肺や大腸、肝臓のがん、乳がんなどは増加してきています。年齢的には働き盛りといえる中高年齢層に特に多いですね。



マイクロトロンによる放射線療法

従来は手術切除に加えて、薬剤療法や高度医療機器による放射線療法など新しい治療技術が進歩しました。胃がん、大腸がん、乳がんなどの早期がんはほとんど治るようになりまし、より「小さい」手術で治す工夫も進んでいます。今までは治りにくかった肺がんや肝臓がんなども、早期に発見さえすれば手術を中心とした総合的な治療で治すことができるようになりました。

―がんセンターには、様々な高度医療機器があると聞きしましたが。

はい。まず病状を診断するための装置として、コンピュータ断層撮影装置(CT)やMRI、血管造影撮影装置といったものがあります。また、治療のための装置として、温熱治療装置や最新の放射線治療機であるマイクロトロンなどがあります。

マイクロトロンは平成十年に導入したのですが、手術室で患者を見ながら放射線を当てる「術中照射」という効果的な治療が



読影カンファレンス

簡単に行えるなど、優れた機能を持った機械で、脳腫瘍の治療などにも威力を発揮しています。

―四月から新たに研究所が整備されたそうですね。

遺伝子や化学療法に関する研究、疫学研究や県民のがん検診をふまえた研究などを行っています。がんの基礎的・臨床的研究は全国の様々な機関で行われていますが、その成果を効果的に診療に取り入れるためには、がんセンター自体の研究機能を強化することも必要なんです。

研究所を開設したことで、今後の診療のレベルアップに、大きく貢献できると考えています。

―新病棟が完成しましたが、どのような建物なのでしょう。

入院患者の皆さんが安らげるよう、明るく暖かみのあるゆったりとした空間づくりを目指しました。

建物内の色彩も暖かみのあるものになりました。内装にも木材を取り入れ、建物の周囲には植

栽を設けています。部屋の窓も大きいですし、自然の光を取り込めるように五階までのふきぬけを二か所に設けてあります。また、病室や通路の幅も広く、車椅子でも自由に移動ができるつくりになっています。

―五階には緩和ケア病棟が設けられたと聞きしましたが、どんな病棟ですか。

ここでは末期の患者さんなどの心身の痛みや不快な症状を和らげるための治療を行います。専門の医師や看護婦が、家族やボランティアの方々や協力しながら、一人ひとりの人間性を大切にしながら、患者さん自身が「生きる力」を見つけていくことを支援します。

南に面したスペースは、広くて明るい談話室です。ボランティアの方々によるミニコンサートや茶話会なども行われます。オーブンキッチンもあるんですよ。緩和ケアは新しい分野の医療と言えらると思います。病院の機能に加えて、家庭のもつ働きや雰囲気大切にしたいと考えています。

―これからどのように、がんセンターを運営していけるのか、考えをお聞かせください。



緩和ケア病棟 医療スタッフのミーティング

今回の整備で拡充された施設・医療機器などの設備を、今後はいかに活用して、治療に結びつけていくか、ということですね。

設備を駆使して患者さんの役に立つようにするのは医師などの医療スタッフです。施設の拡充に伴って医療スタッフも段階的に増えますし、その資質向上のため、研修や定期的なカンファレンス(討論会)を積極的に進めています。また、診療科別の縦割りシステムを排し、スタッフたちは日常的にも活発に議論をしています。それが、治療にも反映されていくんですね。

病気は、最終的には、患者さんが自分で治すものです。それをどう手伝うか、治りやすいように支援するかというのが医療なんです。スタッフは、これをわきまえて、いつも相手の立場に立ち、愛情を持って患者さんと接することが大切だと思います。

センターでは開設以来、「学問に裏付けられた最高の技術を愛のこころで」をモットーに、診療に当たってきました。これからも、県民の皆さまに信頼される病院にしていきたいと思っています。

◇問合せ 県立がんセンター
TEL 028-658-5151



新事業の創出を積極的に支援

栃木県高度技術産業集積活性化計画推進協議会設立総会



県では、県内産業の発展のため、新事業創出を支援する取組を進めています。九月十一日には、創業から研究開発、事業化に至る取組を総合的に支援するために、産学官三十三機関で構成する「とちぎベンチャーサポートプラネット21」を発足させました。

また、十月六日には「県高度技術産業集積活性化計画推進協議会」を設立。ここでは、県央地域で培われた高度技術や人材を生かし、起業家の育成や創業の促進等に取り組み、その成果を県全域に拡大させることとしています。

◇問合せ 県商工振興課
TEL 028-623-13203

皇太子同妃両殿下が那須をご散策



皇太子同妃両殿下は、十月六日から十二日まで、ご静養のため那須御用邸に滞在されました。十日には、牛ヶ首から姥ヶ平、沼原温泉まで、五時間ほどの山歩きを楽しまれました。両殿下は、所々で立ち止まって紅葉に彩られた山々の写真を撮られるなど、那須の秋を堪能されていました。

秋篠宮同妃両殿下が「全国都市緑化祭」にご出席



秋篠宮同妃両殿下は、十月五日マロニエとちぎ緑花祭2000みぶ会場で開催された「平成十二年度全国都市緑化祭」にご出席になり、県木「トチノキ」の記念植樹をされました。

また、前日の四日には、緑花祭うつのみや会場を視察されたほか、宇都宮市内の盲導犬センター、石橋町グリン保育園、壬生町のせせらぎ学園・身体障害者デイサービスセンター「ウィズ」をご視察になりました。

TOPICS

トピックス

県立温水プール館オープン



十月十三日、温水プール館（小山市外城）がオープンしました。屋内温水プールとしては県内初の50m十コースを備えているほか、バリアフリーも考慮したスロープ付き25m六コースも設けられています。どちらも日本水泳連盟公認のプールで、競泳や水球の全国大会の開催も可能です。健康・体力づくりに、皆さまもぜひご利用ください。

◇高校生以下三百円、一般六百円
◇休館日 毎月第一月曜日と年末年始
◇問合せ 温水プール館
TEL 0285-122-4617

大学生たちが県政に意見



十月十一日、県内の大学等に在学する学生三十九名が参加して、「カレッジフォーラム」が開催されました。これは、栃木県の現状を理解してもらうとともに、意見・要望を聴き、県政に反映するために毎年開催しているものです。

フォーラムでは、学生たちから自然保護やバリアフリーの社会づくり、地域医療などについて活発な意見が出されました。

◇問合せ 県広報課
TEL 028-623-2158

身体障害者スポーツ大会開催



第三十九回栃木県身体障害者スポーツ大会が十月七日、栃木県総合運動公園（宇都宮市）で開催されました。大会には、選手八百名余りのほか、関係者、ボランティアなど総勢三千七百名が参加。

秋晴れの空のもと、車いす競走などの陸上競技や、ソフトボール、アーチェリーなど、二十一種目にわたる競技が行われ、選手たちは盛んな声援を受けながら、さわやかな汗を流しました。

◇問合せ 県障害福祉課
TEL 028-623-13491

ふるさと便利

馬頭町広重美術館

歌川広重の肉筆浮世絵をはじめとする版画、書画など約千五百点を集めた「馬頭町広重美術館」が十一月三日にオープンしました。収蔵品は、氏家町に生まれた故青木藤作氏のコレクションで、四年前に馬頭町が寄贈を受けたもの。歌川広重のほか、徳富蘇峰、小林清親、川村清雄などの作品も収められています。

十二月三日（日）までは、開館記念として「広重肉筆画名作展」が開催されています。広重の肉筆画のみの展覧会は、日本でも初めて開催されるもので、ヨーロッパからの里帰り・新発見・初公開の作品も展示されます。また、美術館の建築にあたり



◇所在地 馬頭町大字馬頭116-9
◇入館料 一般500円、高・大学生300円、小中学生100円
開館展料金 一般1000円、高・大学生600円、小中学生200円
◇問合せ 同館 ☎0287-92-1199

ては、八溝杉や烏山和紙、芦野石など地域の特産品をふんだんに利用してあります。木材利用推進中央協議会で林野庁長官賞、県の「マロニエ建築賞」を受賞するなど、高い評価を受けています。

マロニエとちぎ緑花祭2000閉幕!

皆さまのご協力ありがとうございました

期間中入場者数
1,423,950人

9月9日から58日間にわたり開催してきた緑花祭は、11月5日、好評のうちに閉幕しました。期間中は140万人を超える多くの皆さまにおいでいただきました。子どもからお年寄りまで、楽しみながら花や緑の大切さ、素晴らしいさを実感していただけたと思います。これからも、皆さまとともに、花と緑がいっぱいのまちづくりを積極的に推進してまいります。

たくさん来てくれて
ありがとう!



つなぐ緑 つくる緑 こころの緑

マロニエト ガイト



花 歳 時 記

ツリバナ (ニシキギ科)

花がとても小さく目立たない分、実の成る様と色具合は花の分まで美しい樹木です。野鳥もこの実が大好きで、観察できる期間もこの小鳥たち次第。ぶら下がるように花が咲くので「吊り花」と名付けられました。

ウォッチングポイント

低山地から山地にかけ、湿り気のある荒地や明るい雑木林などで見られます。(写真は中宮祠菖蒲ヶ浜)

県子ども総合科学館

- 天体観望会 ●11月18日(土)午後7時～
- 天文台公開 ●11月23日(木)午後1時～
- パラエティールサイエンス ●11月25日(土)・26日(日)①午前10時30分～②午後1時30分～③午後3時30分～
- おはなしすいようび ●毎週水曜 日午後3時～
- プラネタリウム新番組「すばる望遠鏡の世界～150億光年の彼方へ～」 ●12月9日(土)～昨年1月に完成した世界最大級の望遠鏡「すばる」。日本が世界に誇る望遠鏡のすべてを冬の美しい星空を交えて一挙公開

●問合せ ☎028-659-5555

県立美術館

- 栃木県美術の20世紀 I 百年の物語
- 12月3日(日)まで
- 20世紀に活躍した栃木県ゆかりの美術作家(物故者)の作品、県立美術館が所蔵する、日本画、油彩画、水彩・素描、版画、彫刻、工芸など約150点を展示し、栃木県美術の20世紀を回顧します



青木繁「幸彦像」1907年

●問合せ ☎028-621-3566

県立博物館

- 第68回企画展—文化財保護法50年記念「掘り出された文字」 ●12月3日(日)まで
- テーマ展「とちぎ生まれの農作物」 ●12月17日(日)まで
- 博物館でやってみよう⑤「鎧を着よう」 ●11月23日(木)午後2時～4時 ●電話申込み
- 体験学習「ドングリでコマを作ろう」 ●11月25日(土)午前11時～正午 ●当日受付へ



二荒山神社蔵

●問合せ ☎028-634-1312

県総合文化センター

- 劇団わらび座公演『葉の花の沖』 ●11月23日(木)午後3時開演 ●原作/司馬遼太郎、脚本・演出/ジェームス三木、美術/妹尾河童
- ソフィア国立歌劇場オペラ『トゥーランドット』 ●12月8日(金)午後6時30分開演 ●名門歌劇場の総勢180名による引越公演



●問合せ ☎028-643-1010

県政



催し

●緑の相談所の催し

- 【中央公園 ☎028-636-7621】 ●洋ラン展 ●11月23日(木)～26日(日) ●即売も実施
- 【井頭公園 ☎0285-82-4475】 ●講座「クリスマスリース作り」 ●11月26日(日)午前10時～正午 ●定員 40名 ●教材費実費 ●電話申込み
- 【那須野が原公園 ☎0287-36-1220】 ●竹工芸展 ●11月25日(土)～12月3日(日)
- 【みかも山公園 ☎0282-55-7733】 ●花から生まれる豊かな暮らし展 ●12月7日(木)～24日(日)

●青少年のための県民のつどい

- 11月17日(金)午後1時～4時 ●会場 矢板市文化会館 ●内容 少年の主張発表、事例発表、講演「心が育つ環境」山本敬子氏(宇都宮市心の教室相談員) ●入場無料、申込み不要 ●問合せ (財)とちぎ青少年こども財団 ☎028-621-1611

●人権同和問題講演会

- 11月30日(木)午後1時～4時 ●会場 県総合文化センター(宇都宮市) ●内容 表彰式、フルート演奏、講演会「新しいライフスタイル～21世紀にむけて」フランソワーズ・モレシャン氏(共立女子大学客員教授) ●入場無料 ●問合せ 県人権同和对策課 ☎028-623-3026

●きのこ・わさび展示品評会

- 展示 11月30日(木)午後1時～5時、12月1日(金)午前9時～午後0時30分 ●即売 12月

- 1日(金)午後0時30分～ ●会場 栃木県農協会館4階(宇都宮市) ●問合せ 県林業振興課 ☎028-623-3271

●建設雇用改善推進大会

- 11月21日(火)午後1時30分～ ●会場 二荒山会館(宇都宮市) ●内容 表彰式、講演「感謝、感謝の私の野球人生」安田猛氏(元プロ野球投手) ●問合せ 栃木労働局職業対策課 ☎028-610-3557

●国際協カシンポジウム・飛び入り参加型座談会

- 11月23日(木)午後1時30分～4時30分 ●会場 宇都宮大学大会館 ●内容 国際協力の現状と課題等についての討論会、座談会 ●問合せ (財)栃木県国際交流協会 ☎028-621-0777

●とちぎ国際フェスティバル2000

- 11月25日(土)・26日(日)午前10時～午後4時 ●会場 とちぎ国際交流センター(宇都宮市) ●内容 25日(土)ボランティアスクール他、26日(日)各国の音楽紹介、各国の料理販売他 ●問合せ (財)栃木県国際交流協会 ☎028-621-0777

●健康増進イベント 我が家のIPPO

- 12月16日(土)午前10時～午後3時 ●会場 とちぎ健康の森(宇都宮市) ●内容 講演「笑いの中にも大切な話 若も健康、人も健康」江戸家小猫氏(ものまね、司会者)、骨密度測定(先着100名)、初心者向けエアロビクス、他 ●講演、エアロビクスは要申込み ●申込み 12月9日(土)までに電話、電子メール、直接来館 ●問合せ とちぎ健康の森管理センター ☎028-623-5858、Eメール moripref@green.ocn.ne.jp

●高等産業技術学校技能講習

- 対象 会社等にお勤めの方

- 【県校 ☎028-689-6380】 ●電気工事士1種 ●11月28日(火)～30日(木) ●冷凍空調技能養成2級 ●12月12日(火)～13日(水)
- 【県南校 ☎0284-91-0803】 ●機械CAD ●12月5日(火)～7日(木)

募 集

- 地球温暖化防止対策推進シンボルマーク・キャッチフレーズの募集
- 地球温暖化防止の重要性をイメージさせ、幅広い世代から親しみをもたれるものを募集します ●応募締切 11月30日(木) ●問合せ 県環境管理課 ☎028-623-3185

●栃の葉国体記念第18回健康マラソン大会参加者募集

- 13年2月11日(日) ●会場 県総合運動公園(宇都宮市) ●参加資格 小学生以上 ●参加料 中・高校生1,500円、親子(1組)2,500円、一般2,500円 ●申込締切 13年1月10日(水) ●問合せ (財)栃木県体育協会 ☎028-622-7677

案 内

●福祉のしごと移動相談会

- 11月18日(土)午前10時30分～午後3時(受付は午後2時30分まで) ●会場 佐野市総合ボランティアセンター(佐野市大橋町) ●福祉職の紹介・あっせん、求人状況、資格取得、学校案内等の情報提供、相談 ●申込み不要 ●問合せ 栃木県福祉人材情報センター ☎028-643-5622

●栃木障害者職業センターのご案内

- 障害者のパソコン講習 ●就職を目指している方を対象としたパソコンの基本操作の習得 ●13年1月10日(水)～2月5日(月) ●受講無料 ●問合せ 栃木障害者職業センター

☎028-637-3216

●エイズ電話相談

- 12月1日の世界エイズデーにちなんで、36時間連続で相談を受け付けます ●感染に不安のある方やエイズについての悩みごとなど気軽にご相談ください ●12月2日(土)午前10時～3日(日)午後10時 ●相談・問合せ HIVと人権・情報センター ☎0282-86-5231

●赤い羽根共同募金にご協力へ!

- 12月31日(日)まで～現在実施中～ ●問合せ 栃木県共同募金会 ☎028-622-6694

栃木県の広報番組

【とちぎテレビ】

●県政アワー

- 日曜日 18:05～18:30
- 11月19日 とちぎ倶楽部～環境学習
- 11月26日 県議会へようこそ～委員会活動
- 県広報課 ☎028-623-2190

11月19日(日)は 栃木県知事選挙の投票日です

一部の地域では、栃木県議会議員補欠選挙も同時に行われます

(投票日に投票に行けない方は、不在者投票ができます)

「一票で つくる栃木の ゆめ・みらい」

「県の広報」に皆さまのご意見・ご感想をお寄せください!

県では、広報紙、テレビ、ラジオなど各種の媒体を使って、県の施策や情報を県民の皆さまにお知らせしています。皆さまに親しまれ、より充実した広報を行うため、ご意見・ご感想を募集します。

県の施策やできごとを紹介

【広報紙】

- とちぎ県民だより(本紙)
- 毎月15日に新聞折り込みによりお届けしています

【テレビ】

クローズアップとちぎ(とちぎテレビ)

- 土曜日9:00～
- 月曜日22:00～(45分間)
- 県の施策や施策に係る多彩な情報を、コーナー形式で紹介

県政アワー(とちぎテレビ)

- 日曜日18:05～(25分間)
- 県の施策や県警、議会、教育情報等を紹介

県政ピックアップ(ケーブルテレビ)

- 毎日、随時に放送



地域情報や文化情報を紹介

【テレビ】

- とちぎ情報局(とちぎテレビ)
- 木曜日 22:00～、●日曜日8:30～(45分間)
- 地域の話題、大なわとびに挑戦、ご当地クイズなど盛りだくさん
- マロニエギャラリー(とちぎテレビ)
- 土曜日 21:55～(5分間)、著名な美術品を紹介
- とちぎウォッチング(テレビ東京)
- 毎月最終月曜日15:55～(5分間)
- 自然や文化、歴史など、栃木ならではの魅力を首都圏に向けて発信

【ラジオ】

- クロスオーバー栃木(エフエム栃木)
- 土曜日 9:00～(18分間)、地域情報を音楽を交え紹介

行事や募集案内、イベント等を紹介

【新聞】

- 県政だより 毎月1日に掲載

【テレビ】

- とちぎかわら版(とちぎテレビ)
- 月～金曜日 8:55～、●日 21:55～(5分間)

【ラジオ】

- 県政スクランブル(栃木放送)
- 月～土曜日11:00～、日曜日12:15～(15分間)
- マロニエインフォメーション(エフエム栃木)
- 月～金曜日9:00～(5分間)

「県の広報」に望むこと、取り上げてほしいことなどをお寄せください。

ご意見・ご感想は
こちらまで

県広報課 〒320-8501(住所不要)
FAX 028-623-2160
Eメール kouhou@pref.tochigi.jp